

きょうしつ ステップ教室たより



日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
令 和 6 年 5 月 2 8 日
特別支援教室【ステップ教室】

校庭を囲む緑もますます深まり、梅雨の訪れを感じる季節になりました。子供たちは、校外学習や移動教室の話題に花を咲かせ、楽しく学校生活を送っている様子が見受けられます。反面、この時期は新しい環境にも慣れ、緊張感の薄れから生活や学習に取り組む姿勢が緩んでしまう時期でもあります。宿題や練習などやらなければいけないことがたくさんあるけれど、なかなかやる気にならず、自力では取り組めないことも多いのではないのでしょうか。そこで、今回は、子供の自立を促すサポートのコツをお伝えします。

自立を促すサポート①

価値観や基準は子供に合わせて柔軟に



①受容的な態度

子供は自分の選択や思考を否定されると自立への意欲をなくしてしまいます。**子供を尊重し、受容することが基本**です。子供の価値観を尊重することが自立を促します。ただし、受容は**甘やかしとは違います**。子供の言い分を鵜呑みにして、言いなりになるのではなく、子供と一緒に良い方策を考えていきましょう。子供に任せながら受容していることが理想です。

②自己肯定感を高める態度

子供を**褒めて達成感をもたせること、子供に共感することが**自己肯定感を高め、積極的な生き方につながります。子供を信頼し、ある程度任せる方が子供は、自己肯定感を高めることができ、自立を促すことができるのです。

③養育態度に自信をもつ

親が自分たちの養育態度に自信をもつことが子供の自立を促すとわかりました。心配なときは、支援者などに相談して子育て不安を減らしましょう。自信は、気持ちの余裕をうみます。**「自分の価値観」を押し付けず、子供の選択を尊重して子供に合わせた養育が**、自立につながります。

自立を促すサポート②

意識したい3つのポイント

①比べない

同年代の子や、他の兄弟と比べるのは厳禁です。子供の自己肯定感を下げることになります。

②考えすぎない

考えても変わらないことは考えない。過去を考えたり、どうなるかわからない将来を心配したりするのはストレスを作り出すだけです。

③わかる指示を出す

こちらの意図することが子供に伝わらないことがあります。「なぜ聞いてくれないんだろう」とイライラせず、「指示の出し方が悪かったのかもしれない」と考え、子供がわかる話し方を意識しましょう。

(参考：発達障害の子供に自立力をつける本)

